

# 令和6年度事業計画

## 【重点事項】

### 《新まちづくりセンター建設検討委員会の開催》

- ・本年1月に再開した新まちづくりセンター建設検討委員会を継続開催し、市と連携しながら新まちづくりセンターや生活拠点形成に向けた議論の継続  
(令和6年度に新まちづくりセンター建設に向けて市が基本設計・実施設計業務を予定)

### 《まちづくり計画の更新》

- ・当協議会の活動計画である「山田学区まちづくり計画」の更新策定  
(コミュニティ事業団の支援)
- ・市と協働で行う将来を見据えた「山田学区まちづくりプラン」第2期計画の順次更新策定

### 《交流イベントの実施》

- ・地域の2大行事である「メロンまつり」「(仮称)秋の収穫祭」を地域の特色である食をテーマとしたイベントとして展開

### 《組織体制の見直し》

- ・学区のスローガンである～笑顔のまち 住みよいまち やまだ～を目指し、まちづくり協議会の持続可能な体制を維持していくための組織体制の見直し

## 【各グループの活動計画】

### 1. 総務グループ (令和6年度予算 200,000円)

- 毎月1回総務委員会を開催し、当協議会や、指定管理者として委託を受けたまちづくりセンターの運営全般に関する内容について協議  
協議会と市行政各機関との連携を図るため、市長とまちづくりトークを実施

### 2. 企画グループ (令和6年度予算 3,418,000円)

- ・明日の山田を創る会  
「山田学区まちづくりプラン」第2期計画作成について、市と協働で  
「山田らしい」拠点形成と共助の仕組み作り  
「山田らしい」交通環境の充実  
「山田らしい」新たな産業の創出  
など、地域の課題をともに話し進めていくため、月に1回程度会議を開催
- ・ヤマミラ  
昨年度に引き続き、地域資源を利用し、地域や、学生、企業との更なる連携を図る。  
山田のメロンを活用した新商品「凍らせてシャーベット」の開発・商品化を星野科学(株)に依頼し、センターやイベントでの販売を検討  
次世代いきいきグループと協働でアウトドア体験を通じた次世代の育成に向けた取組み

- ・建設検討委員会

新まちづくりセンター建設に向けてセンター整備やセンター周辺の拠点形成について、委員会を開催（月に1回程度開催）

- ・やまだのまつりについて

センターおよび周辺道路を使用し、「メロンまつり」「(仮称)秋の収穫祭」として「食」をテーマとした同規模のまつりを年2回開催  
地域資源である山田のメロンや野菜の販売、地域のお店の出店、学生団体の協力での運営

- ・まちづくり計画の策定

2025(令和7)年度から2029(令和11)年度までの5年間を計画期間として、山田学区が地域住民や各種団体等の協力と協調のもとに地域の現状を知り、課題を自らの地域で解決し、住みよいまちづくりに取り組むために策定(市コミュニティ事業団等の支援依頼)

- ・活気あふれるまちづくり、ずっと住みたいまちづくりのための企画の実施

### 3. 防災グループ（令和6年度予算 200,000円）

構成員：各町内会の自主防災組織

防災アドバイザーとして専門家の指導・支援のもと、災害発生時に1人でも多くの人の命が助かるよう防災意識の向上を目指す

- ・グループ会議

月に1回程度開催。各町の自主防災組織の情報交換の場とし、問題点や課題について話し合い、地域の防災力を高める

- ・防災訓練

年1回開催

- ・講演会および防災講習会の計画・実施

- ・地区防災計画の見直し（随時）

### 4. 安全環境グループ（令和6年度予算 424,000円）

構成員：草津栗東交通安全協会山田支部、町会長会  
安全で住みつづけたいまちにするための取組み

- ・交通安全事業

春・秋の全国交通安全運動（年2回地域の施設等での啓発活動）

高齢者宅訪問による交通事故防止の呼びかけ（9月～11月に訪問し冊子にまとめる）

- ・環境関連事業

  - 各町内の環境整備活動事業（学区内の河川、道路等の環境整備）

  - 市内一斉清掃、カーブミラー・防犯灯清掃、不法投棄監視、草津川クリーン作戦等

- ・地球の環境を守る取り組みとして、ゴーヤカーテンの推進事業や省エネ・温暖化対策啓発への取り組み（事務局対応）

5. 健幸グループ（令和6年度予算 533,000円）

構成員：体育振興会、健康推進員連絡協議会

草津市健幸都市宣言を推進し、地域の皆さんが健康への理解を深め、いきがいをもって、すこやかで幸せな暮らしができるような取り組み

- ・ウォーキング事業

  - 山田学区民の健康増進・交流を深めるため体育振興会が実施

  - 10月頃、参加者50名（スタッフ含む）程度

- ・食育事業

  - 食育講座を年2回（10月・翌年2月）健康推進員連絡協議会が実施

6. 次世代いきいきグループ（令和6年度予算 400,000円）

構成員：山田小学校PTA、松原中学校PTA、青少年健全育成山田学区民会議 他

まちづくり活動を通じて次世代を担う若者の生きる力を育む

- ・やまだアドベンチャーハウスの実施

  - 小学校4～6年生対象

- ・アドベンチャーハウス中高大学生企画委員会の開催

  - 中高大学生がスタッフとなり、アドベンチャーハウスを企画・運営

- ・中高大学生企画イベントの実施

  - 中高大学生が企画・運営する事業

7. 人権グループ（令和6年度予算 190,000円）

山田学区同和教育推進協議会と協働で取組む

一人ひとりが安心して生活できるまちづくりのための取り組み

- ・町内学習懇談会の開催のための学習

  - 第3講座、第4講座、総括研修会

- ・町内学習懇談会の開催  
各町内会 10月～翌年1月開催

- ・館外研修の実施  
年1回（開催時期未定）

## 8. 広報グループ（令和6年度予算 1,000,000円）

当協議会や山田学区に関わることを広く発信し、協議会活動への参加参画を促進

山田の新たな魅力の発掘・発信

組織体制の見直しのため、ホームページの変更整合・機能追加

- ・広報紙「まちづくり通信やまだ」の作成・発行  
年間9回程度発行、4ページカラー刷り 発行部数 各2600部（全戸配布）

- ・山田学区まちづくり協議会公式LINEの配信  
協議会事業や各種団体、町内会などのタイムリーな情報の発信  
登録者数 1,278  
LINE登録者限定企画イベントやノベルティ企画による登録者数の拡大

- ・山田学区まちづくり協議会ホームページの日常的な更新  
当協議会のホームページの日常的な更新については、町内会をはじめとする各種団体や当協議会の事務局が実施  
公式LINEからもアクセスできることをさらに周知し、閲覧数、インターネットでの貸館予約数の拡大  
また、組織体制変更に伴うシステムの整合化